

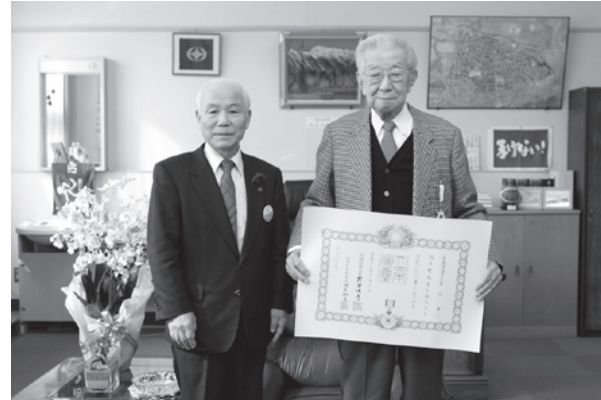
- 多年の功労に晴れの栄誉 - 秋の叙勲

加藤さんに瑞宝単光章



加藤清さん（都路町）が瑞宝単光章を受章されました。加藤さんは、昭和 40 年に旧都路村消防団に入団し平成 8 年から 4 年間団長を務め、夜警や戸別訪問を強化するなど地域の防災活動への尽力が評価されました。11 月 18 日に市役所を訪れ、富塚市長に受章の喜びを報告し「このたびの受章が震災復興に向けて携わっている後輩の皆さんの励みになれば幸いです」と話していました。

青山さんに旭日双光章



青山孝さん（常葉町）が旭日双光章を受章されました。青山さんは、昭和 40 年に青山医院を開業。平成 21 年から 2 年間、田村医師会副会長を務められるなど、「生涯一医師」の信念のもと、地域医療の向上への尽力が評価されました。

11 月 9 日に市役所を訪れ、富塚市長に受章の喜びを報告し「長年の活動を支えてくれた地域の皆さんや家族に感謝したい」と話していました。

末永くお元気で
- 佐久間ヨシノさんに百歳賀寿 -

1 2 月 7 日に満百歳を迎えられた佐久間ヨシノさん（常葉町早稲川）。

県から県知事賀寿と記念品、市から賀寿と祝金が贈られました。また、市社会福祉協議会、市老人クラブ連合会、常葉町老人クラブ連合会からそれぞれ賀寿と祝金が、早稲川老人クラブから祝金が贈られました。

ヨシノさんは、終始にこやかに賀寿等を受け取っていました。長生きの秘訣は、「好き嫌いなくなんでも食べること」とのことです。



東京都大田区で田村市 P R 活動



11 月 12・13 日、田村市商工会女性部連絡協議会、(株)まちづくりふねひきが大田区平和島の平和の森公園にて大田ふれあいフェスタに出展し田村市の P R 活動を行いました。

両日で 35 万 5 千人の出があり、震災復興募金として 5 万 2 千 520 円が商工会女性部連絡協議会から市へ寄付されました。

少年の健全育成に多大な貢献



平成 2 3 年度福島県スポーツ少年団表彰式ならびに日本スポーツ少年団顕彰伝達・感謝状贈呈式が 12 月 1 日、福島市ウェディングエルティで開催され、席上で小西謙一さん（船引町）に感謝状が贈呈されました。

12 月 9 日には、教育委員会を訪れ、助川教育長に受賞の喜びを報告しました。

A S I M O に感動、子どもたちに広がる笑顔の輪



ホンダの二足歩行ロボット A S I M O（アシモ）が 11 月 25 日、旧石森小に登場し、特別授業で避難している児童・生徒を励ました。

被災地を対象とした同社の復興支援活動の一環として行われたもので、古道・岩井沢の両小学校の児童、校舎が被災した菅谷小、また移中の生徒合わせて約 2 7 0 人が参加しました。

A S I M O は片足立ちや後歩き、手話などを披露。サッカーボールを蹴って男子児童の足元に届けたり、飲み物を運ぶなどして参加者の注目を集めました。また、開発の歴史や最新の技術も紹介され、夢を持って努力する大切さについて学びました。

田村医師会と市が災害時医療協定を締結

田村医師会（石塚尋朗会長）と田村市が東日本大震災の経験を踏まえた「災害時医療協定」を 12 月 7 日に締結しました。

医師会では、震災を機に地元自治体との連携強化が必要との声があがり、協定書案を 5 月に採択。田村地方三市町への提案や調整を続けてきました。

今後は、公共施設や医療・介護施設の現状把握、地域別の救護班の編成、緊急時通信手段の確立などの連携強化が進められます。

締結式で富塚市長は「市民の不安解消に連携は不可欠。緊密に連携して対応したい」とあいさつ。石塚会長は「担当者間で協議を進めさらに充実した内容の協定にしたい」と述べ、署名、調印した協定書を取り交わしました。

